

避難行動要支援者の個別避難計画について

小田原市 福祉政策課

避難行動要支援者の個別避難計画について

個別避難計画の必要性

近年の激甚化・頻発化する自然災害に対して、災害時または災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難で、避難支援が必要な方（**避難行動要支援者**）の避難支援を実効性のあるものとするため。

個別避難計画の概要

個別避難計画は、避難行動要支援者ごとの避難の支援、安否の確認など、対象者の命を災害から保護するために必要な支援等を実施するための計画。

< 計画の記載内容 >

- ・ 避難行動要支援者の居所や心身の状況
- ・ 避難支援等を実施する者の氏名または名称、住所、電話番号等の連絡先
- ・ 避難先及び避難方法

避難行動要支援者の個別避難計画について

個別避難計画の対象者

- 計画作成対象者は避難行動要支援者名簿に記載されている方です。
- 本市では避難行動要支援者のうち、災害リスクの高い区域に居住している要介護3～5の方、身体障害者手帳1～2級の方、重度の精神・知的障がいの方を優先対象として先行して着手します。

※災害リスクの高い区域

- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 洪水浸水想定区域（浸水深3 m以上）
- 高潮浸水想定区域（浸水深3 m以上）

個別避難計画の関係者の責任と役割について

計画作成者・支援者の責任について

- 個別避難計画は、避難支援者自身やその家族などの安全が前提のため、避難支援が必ずされることが保証されるものではありません。
- 計画内容を実行できなかった、あるいは計画に基づく避難の結果、要支援者が負傷または死亡した場合に、責任を負うものではありません。

計画作成者（ケアマネジャー等）の役割について

- 市の委託を受けた計画作成者（ケアマネジャー等）が、本人又は家族等の意向や、関係団体による協力可能な避難支援の範囲等を踏まえ、計画を作成します。
- 本人や家族の状況から、発災時及び発災後のリスクを想定し、それらのリスクに対処するため必要と考えられる支援やその方法について本人や家族に伝え、より良い支援方法を選択します。

個別避難計画の作成について

本人・家族の積極的な参加

- 計画の作成においては本人が積極的に参加することが重要です。
- 防災の基本は自助であり、避難支援者や避難場所、避難方法等は、本人、家族の意向を踏まえて検討する必要があります。

本人・家族の防災意識の向上

- 個別避難計画を作成しても、要支援者本人に避難の意思がなければ、本人や家族だけでなく、避難支援者の安全も脅かされる場合があります。
- 計画作成を通じて本人や家族の防災意識（自分で助かる「自助」の意識）を向上させていくことが、確実な避難支援には必要です。

個別避難計画の作成について

計画作成に係る同意の確認

- 個別避難計画は避難行動要支援者の心身の状況など重要な個人情報に関係者が共有することとなるため、本人の同意が前提となります。
- 同意確認に当たっては「個別避難計画作成同意確認書」を用いて本人（家族）から必ず同意を得る必要があります。

計画書の作成

計画作成に同意した避難行動要支援者本人及び家族へヒアリング等を行い「避難行動要支援者の災害時における個別避難計画」の各項目を記入します。

※まずは風水害を想定しての作成を優先します。
地震発生時の対応も検討できる場合には記入します。

個別避難計画の作成について

①基本情報	<ul style="list-style-type: none">氏名・性別・住所・生年月日・血液型・電話番号・同居家族の有無・ペットの有無を確認し記入します。
②身体情報	<ul style="list-style-type: none">介護認定、障害者手帳の情報を記入します。起き上がりや歩行の状況、視力や聴力の状況、医療機器や服薬の状況について要支援者（家族）と確認しながらそれぞれ記入します。その他、本人の心身の状況について第三者からもわかりやすく記入します。
③緊急連絡先	<ul style="list-style-type: none">緊急連絡先となる親族や関係者を記入します。

個別避難計画の作成について

④居住地の状況	<ul style="list-style-type: none">自宅で想定されるハザード情報について、ハザードマップを参照しながら記入します。
⑤避難場所	<ul style="list-style-type: none">災害時に避難する場所について、市が公表している避難場所一覧等を参考に要支援者（家族）と確認しながら記入します。 <div data-bbox="784 799 2374 1385"><p>風水害：台風や大雨等の風水害による被害が予想される場合に、あらかじめ避難しておく場所を検討し記入します。（風水害によるリスクがない場合には「在宅避難」）</p><p>地震：地震発生後に自宅に戻れない状況となった場合に避難する場所を検討し記入します。</p></div>

個別避難計画の作成について

⑤避難場所	<ul style="list-style-type: none">それぞれの避難場所について、自宅からの距離と移動手段、異動に係る時間を要支援者（家族）と確認しながら記入します。
⑥避難支援等実施者	<ul style="list-style-type: none">避難行動をサポートする者について検討し、各支援者が実施する支援項目を確認して記入します。 <div data-bbox="792 743 2313 1136"><p>※支援者の例 ①家族 ②事業者 ③近隣住民（地域）など 検討の結果、選定できない場合は 支援者不在（空欄）</p></div> <ul style="list-style-type: none">寝たきりなど重度の方に対して、事業者側で支援できるものがないか（施設受入れ、移送支援等）検討し記入します。

個別避難計画の作成について

<p>⑦特記事項・避難経路等</p>	<ul style="list-style-type: none">• その他避難支援のために必要と思われる事項や配慮すべき事項について記入します。• 対象者の過ごし方などは、ケアプランの第3表を添付書類とするなどの方法もあります。• 避難経路が決まっている場合には、その情報について記入します。
--------------------	--

個別避難計画の共有

作成した個別避難計画は、本人及び避難支援等実施者をはじめ、市を通じて地域の自主防災組織、民生委員等の関係者に共有します。

個別避難計画作成のイメージ

